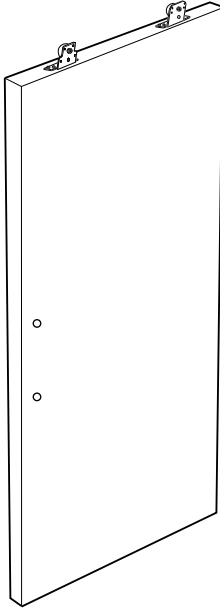
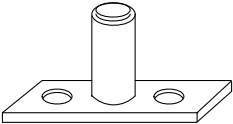
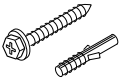
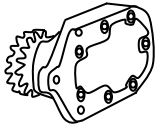
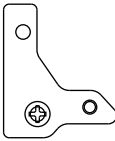
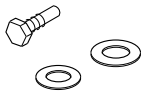
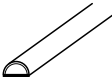
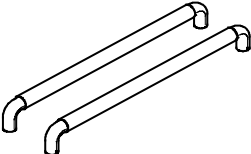
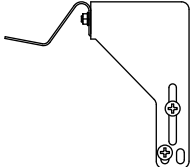
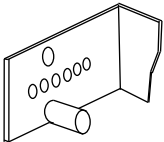


ハートフル
オートスライドドア (ポケットタイプ)
《扉施工用》

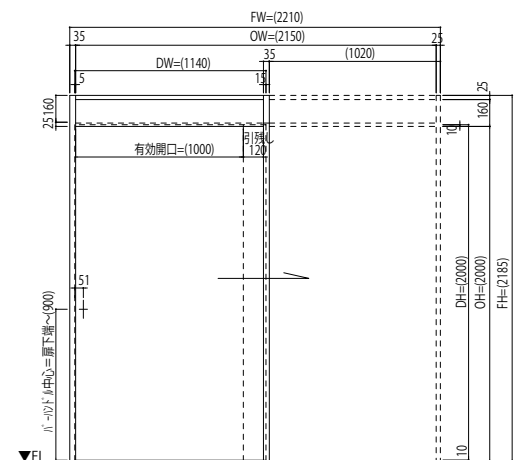


施工にあたってのご注意

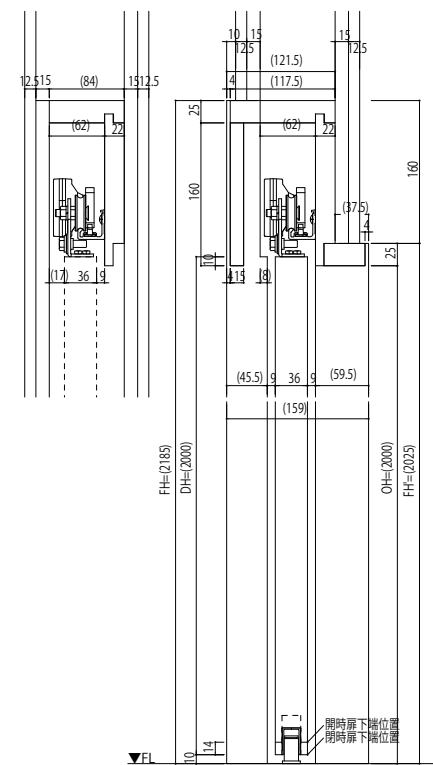
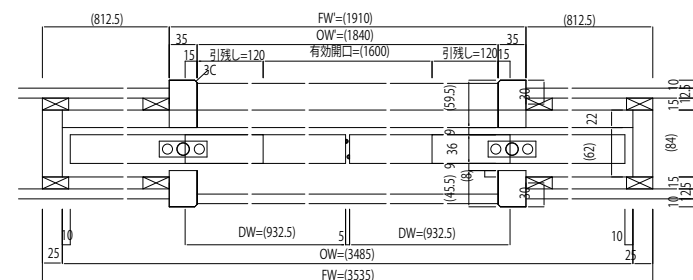
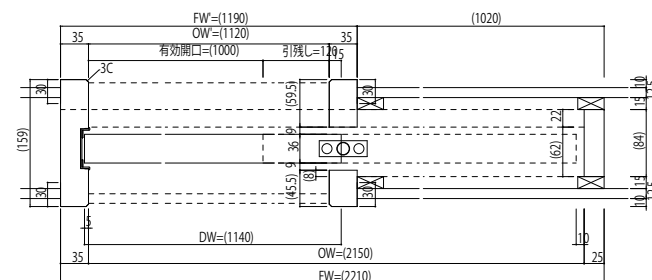
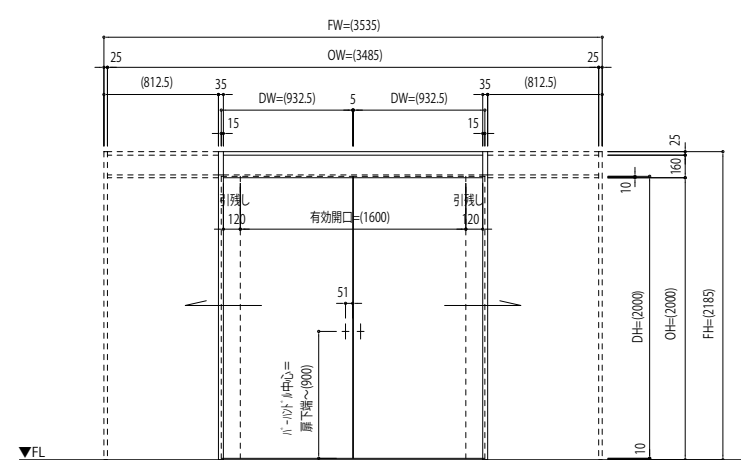
- | 扉 梱 包 | | | | | | | |
|---|---|--------|--|-----------------|---|-------------|----|
| 片引 | 引分 | 片引 | 引分 | 片引 | 引分 | 片引 | 引分 |
| 扉 | | 床付けガイド | | 床付ガイド用ビス (プラグ付) | | ゴム戸当り (ビス付) | |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 |
|  |  | |  | |  | | |
| | 油圧装置 | | ダンパー取付ビス | | アタッチメント | | |
| | 1 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | |
| |  | | 
(M5×10mm) | |  | | |
| | 外れ止めボルト (座金付) | | 高さ調整プレート | | 召し合せクッション | | |
| | 1 | 2 | 2 | 4 | — | 2 | |
| |  | |  | |  | | |
| | ハンドル | | ストッパーアーム | | ストッパー戸当り | | |
| | 2 | 4 | 1 | 2 | 1 | 2 | |
| |  | |  | |  | | |

納まり図

【片引】

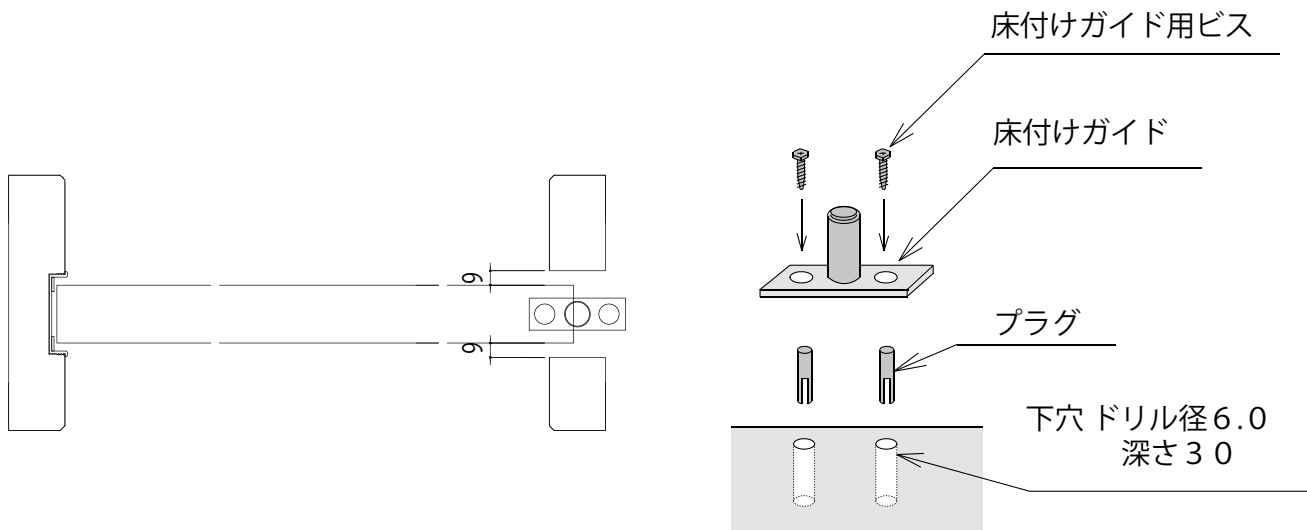


【引分】



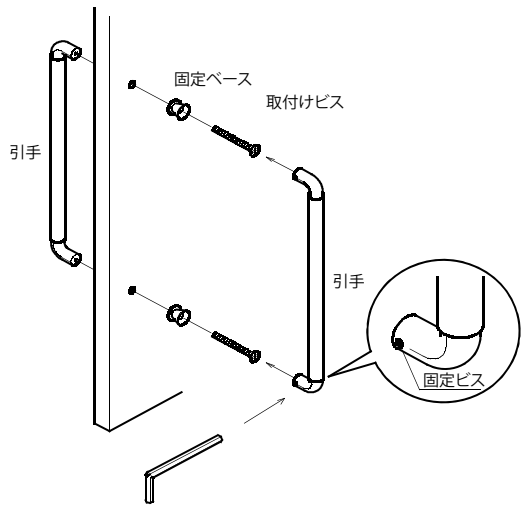
1. 床付けガイドの取付け

①所定の位置に床付けガイドを取り付けてください。

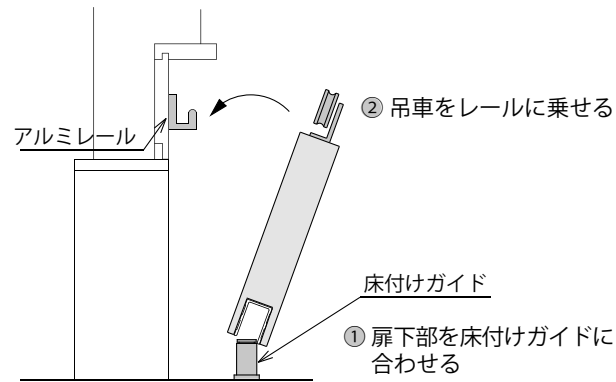


2. 扉の取付け

①ハンドルをドライバーおよび付属のレンチで取り付けてください。



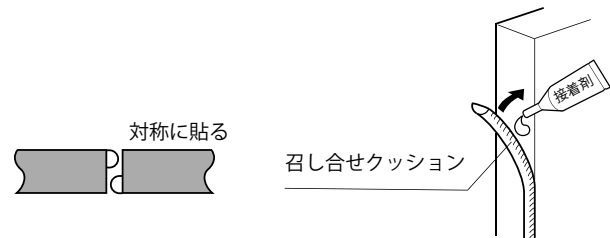
②扉を吊り込んでください。



※この時点ではブレーキ効果がありません
指はさみにご注意ください

【引分・親子引の場合】

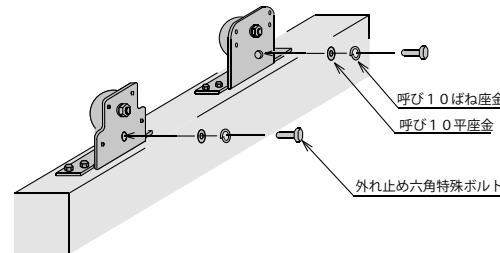
○接着剤を併用して、召し合せクッションを扉の小口に取付けてください。



※親子引扉の取付方法は子扉施工用をご参照ください。

3. 動作確認と調整

①外れ止めボルトを取り付けてください。



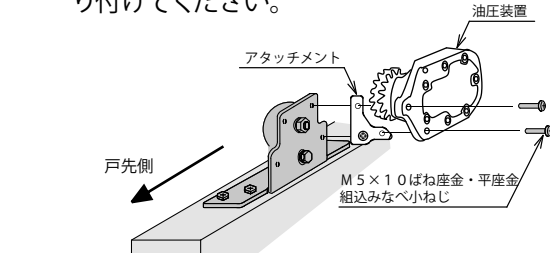
※必要に応じて付属のプレートで高さを調整してください。

④油圧制御装置のニードル弁をマイナスドライバー等で調整してください。

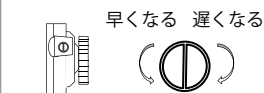
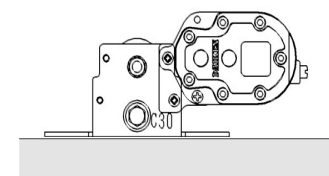
※ニードル調整弁を2回以上廻さないでください。

⑤ストッパーアームとストッパー戸当りを取付けてください。
ストッパー戸当りはアーム部分が引っかかる任意の位置でレール取付け板に取付けてください。

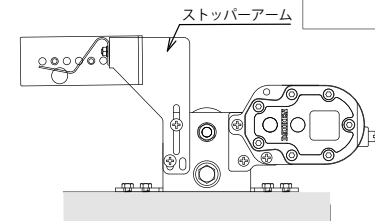
②扉を半分以上開け、ダンパーを戸先側吊り車に取り付けてください。



※必ず扉を吊り込んだ後に粘性ダンパーを取り付けてください。

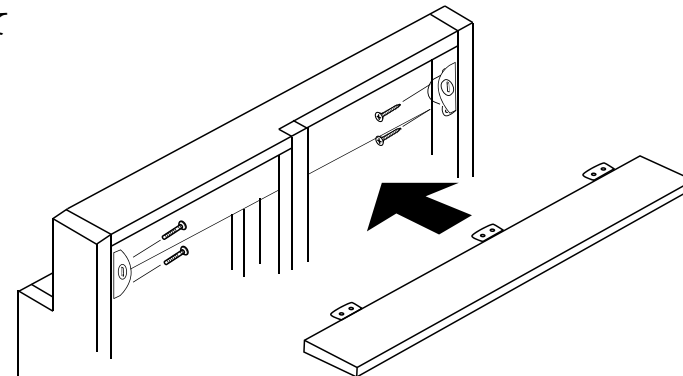


右に廻すと遅く、
左に廻すと早くなります。



4. 点検板の取付け

①マグネットキャッチを取付け後、点検板についている丁番を上枠に固定してください。



施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
- ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
- ◆ネジのゆるみや枠のガタツキがないか確認してください。
- ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。

※取付けが完了しましたら、扉が他の現場工事によって破損しないように「養生マット」をご利用ください。
※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引き取っていただくようご協力をお願いいたします。

＜お手入れ方法＞

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れをおとし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナーなどの溶剤や強い洗剤を使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・パテなどが付着した場合は、速やかに拭き取ってください。